

## ようこそ北国の八幡平市へ 初めての雪とスキーに歓声

友好都市・沖縄県名護市の青少年交流事業松尾地区研修



沖縄の盆踊り「エイサー」を披露する名護市の子どもたち

旧松尾村から交流が続く、友好都市沖縄県名護市の「少年の船(玉城節子団長)」一行は2月9日、市を訪れ、松尾地区の小・中学生と交流を深めました。

この交流会は、毎年この時期に行われ今年で10回目。名護市から児童・生徒40人が、地元の子童・生徒と冬の北国で温かい友情をはぐくみました。松野小学校で行われた交歓交流会では、名護市を代表して比嘉元貴君が「初めて見る雪はとてきれいでびっくりしました。松尾地区の友達と



南国の子どもたちが北国の生活を初体験。初めての雪、初めてのスキー、そして猛吹雪も体験しました



一人一人が名刺交換をして自己紹介。最初は少し緊張気味でしたが、すぐに仲良しになりました

雪遊びやスキーを通して、たくさん楽しみたい」とあいさつ。友好の証として沖縄の三味線「三線」が松尾地区の子どもたちに贈られました。

互いの地域をもっと知ってもらおうと、それぞれ趣向を凝らした「お国自慢」をビデオで紹介。北国と南国の文化や風習などの違いを学びました。文芸発表では、名護市の子どもたちが沖縄の盆踊りにあたる「エイサー」や、琉球空手などを演舞。松尾からは田植え踊りが披露されました。

午後からは、パノラマスキー場でスキー体験をしました。松尾の子どもたちがスキーの先生となり、ペアを組んでレッスン。上達した名護市の子ともたちと、友情のシニールを描きました。

## 2度目の全国制覇 わんこそば横綱に



### ZOOM UP

「横綱は人生で2回目です」と彼は、さらに目を細めた。2月11日に花巻市で開催された、わんこそば全日本大会個人男子の部で205杯をたいた。小学生の時、相撲の全国大会で頂点を極めて以来、2度目の全国制覇となった。地元寺田スポーツ少年団の子ともたちと一緒に出場したのがきっかけ。初出場だった。大会前に、嘸まずに一気に飲み、「会社の上司の指示通り、5分という制限時間の中、無我夢中でそばを胃へ流し込んだ。最初は順調だったが、150杯を過ぎたあたりから急に腹が苦しくなった。水を飲みたかったが、そのペースにそばを詰め込んだ」とすでに限界に達していた。「子どもたちの大声援に勇気付けられた」と、お腹をゆすったり、動かしな思った時、行司が彼に軍配を上げた。「優勝おめでとう」と。

### 遠藤 望さん

●えんどう・のぞむ 西根第一中から相撲の強豪・埼玉栄高に進学。中央大学を卒業後、三研ソイル㈱で営業マンとして東北を担当する。相撲は小学生から始め、現在も実業団で活躍。小学6年生の時に全国大会で横綱となる。好きな食べ物は「そば」、特技は「そばの早食い」と根っからのそば好きだが「しばらくそばは遠慮したい」と漏らす。身長175㎝、体重125㎏と恵まれた体格。25歳。両親と兄、妹の5人家族。血液型A型。西根寺田地区。

## みんなの作品

### ～平笠小～



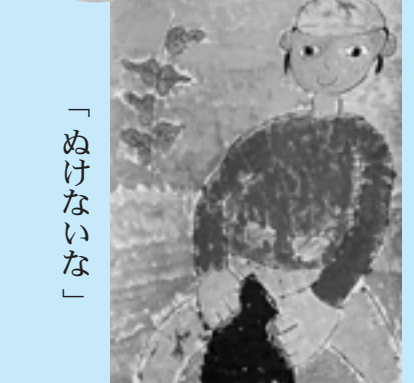
4年 わたなべ いっせい 渡辺 尙誠くん



「へんしんするかいぶつ」



2年 たかはし あやか 高橋 綾花さん



「ぬけないな」



5年 たかはし ゆうや 高橋 裕也くん



「空を飛んだかずお」

### 広報クイズ No.6 3月2日号の問題

### 平舘高等学校家庭 クラブが作る手 作り枕の名前は

正解者の中から抽選で3人の方に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。

◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢、行政区」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

◎応募期限 3月17日(金) 消印有効

◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」

☆はがき 〒028-7192(住所不要) ☆ファクス ☎75-0469

☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp

\*メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。

◎第5回の正解 「松尾中学校」 ◎応募者数 18人 ◎正解者数 18人

◎当選者 工藤友恵さん(田頭)、工藤由美子さん(柏台)、村上征子さん(荒屋新町)